

OPPO、「Apex Guard」発表 新次元の品質追求へ

【2025 年 11 月 14 日中国・深圳】－OPPO は、ハードウェアとソフトウェアの両面でこれまで以上の高品質を実現し、よりユーザーが快適にスマートフォンを使用するための新たな取り組み「Apex Guard（エーペックスガード）」を発表しました。この取り組みによって、OPPO は、一般的な日常での使用範囲を超えて、製品寿命の長寿化や、業界のこれまでの基準を更に上回る厳しい基準の確立を目指します。

深圳近郊の OPPO 濱海湾キャンパスにあるグローバル本社兼 R&D 拠点で開催されたイベントでは、研究の初期段階から製品の完成まで、開発のあらゆるステップにおいて品質にこだわり抜くという OPPO の品質に対する新たなビジョンが公開されました。

「品質はすべての基盤となります。」OPPO 製造ディレクターのグルース・シャンは話しました。「OPPO は品質を常にアップデートさせることで、ユーザー一人ひとりが人生を自由に楽しむことに貢献したいと考えています。品質は単なる機能ではなく、『Make Your Moment—自分だけの瞬間を描こう』を実現するための自由そのものなのです。」



Apex Guard で次のレベルの品質へ

OPPO は、これまでも大切にしてきた“ユーザーの本質的なニーズに応える姿勢”を Apex Guard によってさらに進化させます。そして、すべての製品ラインに共通する基本的な取り組みとして、次のような 3 つの側面からアプローチします。

日常使用レベルを超える:独自の高強度素材も開発

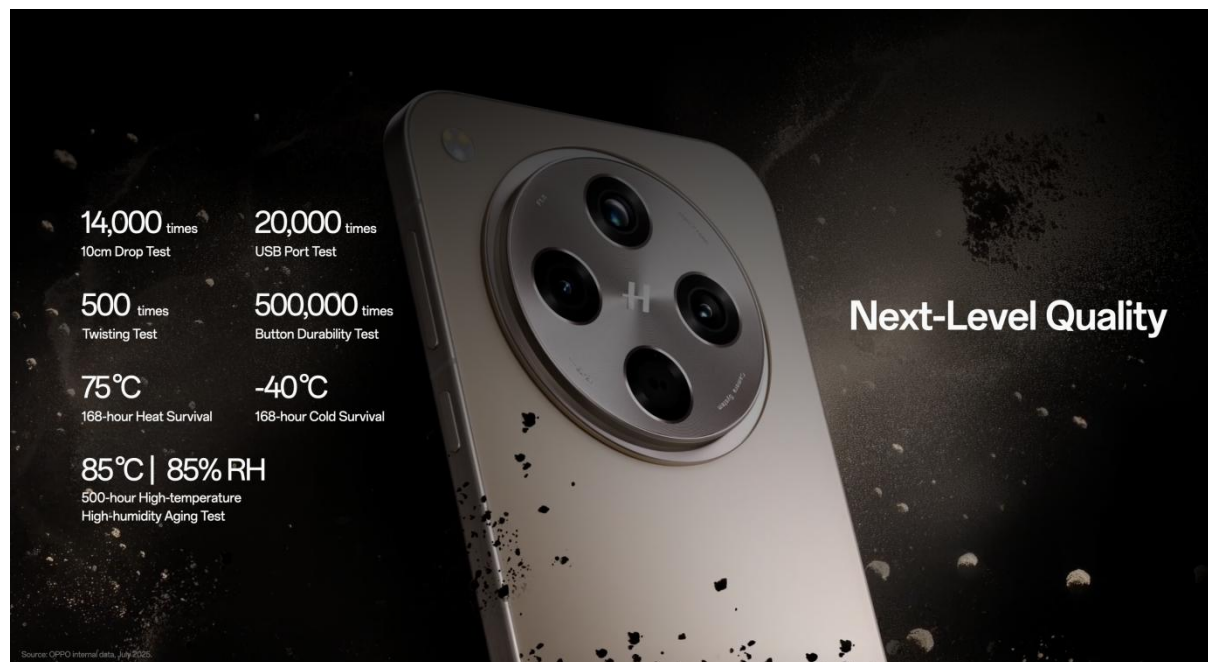
設計段階における革新的な品質向上によって、Apex Guard は、水漏れや落下といった不意のアクシデントに備えるだけでなく、日常での使用を超えた安心感をユーザーの皆さまに提供します。素材やプロダクトデザインにおける先端的な研究によって、日常的な摩耗や負荷に耐える超高強度スチールや AM04 航空宇宙グレードのアルミニウム合金といった耐久性に優れた素材を開発しました。また、端末内部にも衝撃から守る構造を導入し、日常使用を超える保護性能を提供します。

従来の製品寿命を超える:球状シリコンカーボン素材によるバッテリー長寿命化

Apex Guard は、長期間にわたって安心して使えるように、時間とともに劣化しがちな分野においても、次世代の品質を提供します。特に、球状シリコンカーボン素材を用いた OPPO 独自のシリコンカーボンバッテリーは、安全性を維持しながら、バッテリーセル寿命を 400 サイクル以上延ばしました。これによって OPPO デバイスがより長期にわたって快適に使えるようになります。

一般的な基準を超える:180 項目以上のデバイステストを実施

卓越した品質を確保するため、OPPO は TÜV Rheinland、TÜV SÜD、SGS といった国際的な試験機関と連携しながら、業界の一般的な水準を大きく上回る基準で製品を開発しています。OPPO のデバイスは、細部に至るまで非常に精密な製造工程を経ており、厳しい試験項目に基づく評価を受けています。この評価には、新素材に対する複数回の品質検証や、研究開発初期から製品ライフサイクルの終盤に至るまで 180 項目以上のデバイステストが含まれています。製品そのものだけでなく、OPPO のアフターサービスも業界標準を超える品質を提供し、購入後も継続的な安心をお届けします。



次世代のソフトウェアスムーズネスで新たな品質体験を

ユーザーがスマートフォンの品質を最も直接的に感じる要素の 1 つが、操作のスムーズさです。OPPO はソフトウェアの革新を Apex Guard の重要な柱として位置付け、よりよい使い心地が長く続くよう研究を進めています。

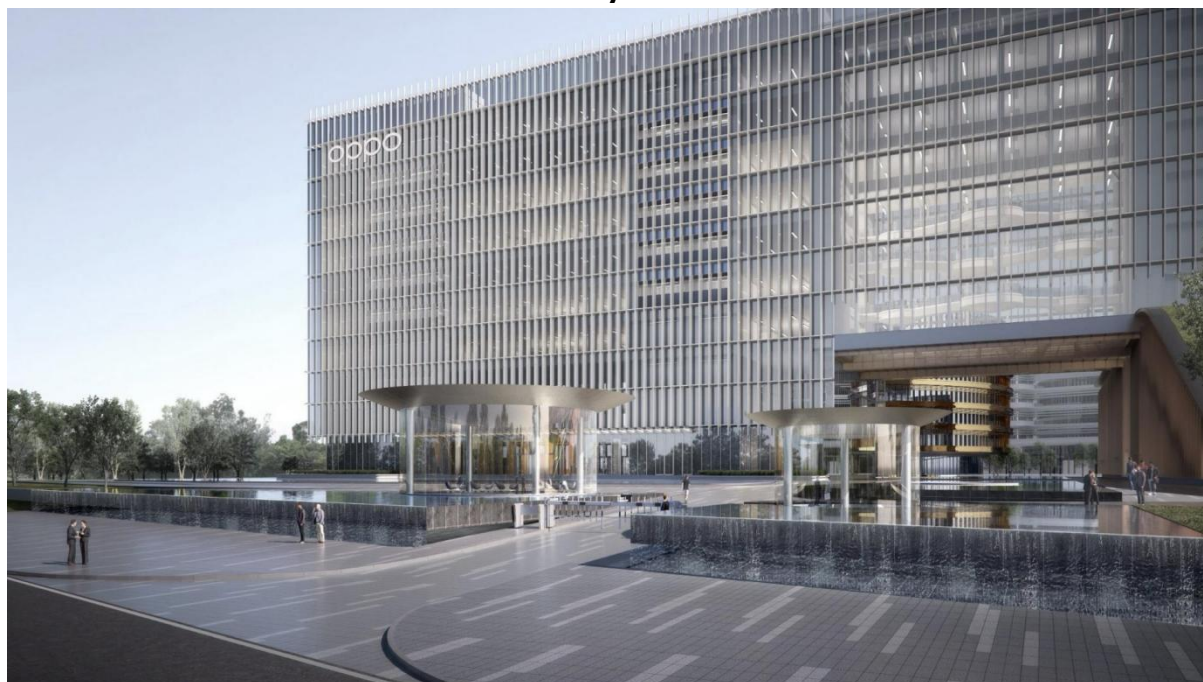


ColorOS 16 に搭載された新しいリミナスレンダリングエンジンは、スムーズな操作体験をより進化させるため、Android として初となる統合アニメーションアーキテクチャを導入。アプリ起動から画面遷移まで、システム全体でシームレスな動作を実現します。より負荷の高い場面では、刷新されたトリニティエンジンに含まれるチップレベルでのダイナミックフレーム同期技術により、マルチタスク時のフレーム描画をリアルタイムで最適化します。センサーオフロード技術により、より強力な SoC が主要センサー処理を行うことで、4K 60fps 動画撮影時の消費電力を大幅に削減します。

また、エントリーモデル向けの ColorOS 16 にインスタントリフレッシュ機能が導入されました。ワンタップでデータ断片化を軽減し、アプリ権限の最適化を行えるようにしました。OPPO は更に、48 カ月・60 カ月・72 カ月といった長期間のスマホ使用をシミュレーションする厳格な耐久テストを実施し、数年間使い続けてもスムーズで快適な操作性が維持されることを確認しています。

OPPO は、スムーズさを定量的に評価するための独自基準も開発しました。OPPO スムーズネスベースラインテストでは、数百に及ぶ使用シーンでのソフトウェア性能を測定。そして業界初となるパラレルアニメーションにおける 6 ゼロ基準（ラグ 0、遅延 0、ちらつき 0、クラッシュ 0、誤起動 0、フリーズ 0）を、ホーム画面でのアプリ起動や画面遷移の滑らかさにフォーカスしたソフトウェア品質基準として設定しました。この基準を、エントリーモデルの A シリーズからフラッグシップの Find シリーズまで、すべてのデバイスに適用します。

OPPO 品質を支える拠点、濱海湾（Binhai Bay）キャンパス



OPPO は品質への取り組みを一段と加速させるため、濱海湾（Binhai Bay）キャンパス内の設備をさらに拡充し、先進的な機器を集約させ、キャンパス全体のスケールメリットと相乗効果を高めます。キャンパスには、材料ラボ、スマート端末テストラボ、電力消費スマートラボ、通信ラボなど、先進的なラボが多数設置されています。それぞれが異なる観点から品質評価を行い、信頼性の高いハードウェアとスムーズなソフトウェア体験を総合的に支えています。

OPPO について

OPPO は、「Make Your Moment（自分だけの瞬間を描こう）」をブランドスローガンに掲げる世界をリードするスマートデバイスブランドです。2008 年に最初のフィーチャーフォン「A103 Smiley Face」を発表以来、OPPO は、デザインの美しさと革新的な技術を両立させながら、新たな価値の創出を目指してきました。現在 OPPO は、Find シリーズや Reno シリーズを中心とした多様なスマートフォンや IoT 機器、ColorOS を提供しています。OPPO は、70 以上の国と地域で事業を展開しており、「自分らしさを愛し、今を楽しむ」世界中のお客様を応援しています。

公式 WEB サイト: <https://www.oppo.com/jp/>

X: <https://x.com/OPPOJapan/>

Instagram: <https://www.instagram.com/oppojapan/>